

# 町政を問う!

## 一般質問 11議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

### 関根清隆 議員

1. 町の災害時対策について
2. 生活サポート
3. 川越都市圏まちづくり協議会

### 石井 徹 議員

1. 災害時の情報発信について
2. 泉井集落センター建設計画の変更について
3. 改めてふるさと納税への取り組みについて

### 大賀広史 議員

1. 子育て支援（児童虐待防止）
2. 町の財政と主要事業（来年度予算と中期財政見直し）
3. 災害対策（台風19号）

### 小川唯一 議員

1. 災害対策
2. SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みについて
3. 薬用作物について
4. 亀井小の学童施設

### 松浪健一郎 議員

1. 幼児教育、保育の無償化により、役割を終えた感のある、鳩山幼稚園の今後について伺う
2. いつまで経っても変わらない、廃墟感漂うニュータウン内のJAXA住宅跡について伺う

### 森 利夫 議員

1. 北部地域活性化事業について
2. 給食センターについて

### 日坂和久 議員

1. 水道事業について（9月定例会の関連）
2. ニュータウン内街路の管理について
3. デマンドタクシー利用者からの要望と対応について
4. 美しい農村と魅力ある里山づくりについて

### 中山明美 議員

1. 災害に備えて対策を
2. 「提案募集方式」の活用を
3. 新生児聴覚スクリーニング検査を

### 野田小百合 議員

1. 太陽光発電施設について
2. 香害について
3. 学校給食について
4. 自然と住民の思いを活かしたまちづくりについて

### 小鷹房義 議員

1. 小、中学校の食育の取り組みについて
2. 児童、生徒の長期欠席による学習支援について
3. 亀井グラウンドの駐車場トイレについて

### 根岸富一郎 議員

1. 水道料金について
2. 災害対策について
3. 耳の聴こえについて

## 災害対策

### 情報伝達、高齢者の避難は

### 自主防災とハザードマップの確認を



関根 清隆 議員

**問** 町の災害対策  
災害時情報伝達、問合せ、停電時伝達手段は、災害時対応の情報については、全戸配布のハザードマップに多く記載し、庁舎内電話回線分通話が可能。防災行政無線放送（非常電源設備あり）、ホームページ、車両、消防車両などで周知を図っている。

**問** 車で避難所へ行って良いか、また持ち物はいかがか、鳩小も始めから避難所にしてほしい。

**答** 駐車場には限りがあり、歩ける方は徒歩で避難所まで来てほしい。町は食料・飲料水・毛布等寝具を準備。一時的な避難に必要な物資のみとなる。鳩小の避難所は、総合的に判断し、開設するか否か判断する。

**問** 高齢者・障がい者の避難は、また町内会の役割は。

**答** 避難行動要支援者名簿の作成に努めているが、対象者の十分な理解と協力が得られていない。現在、町で準備中の自主防

災活動について、町内会に今後検討を依頼する。その結果を共有し、防災体制を充実していきたい。

**問** 町だけで対応ができない時や、ブルーシートによる応急処置は。

**答** 県・消防・警察・自衛隊等に依頼。ブルーシートは高所作業なので専門業者に依頼願いたい。

**生活サポート**

**問** 『はとまるマップ』の充実と全戸配布を提案。

**答** 更新対応が不定期で主に高齢者福祉情報。しかも56ページもあり、そのため全戸配布していない。

**川越都市圏まちづくり協議会**

**問** 加入の検討はいかがか。

**答** 協議会への打診を行っている。協議会側の意向確認には時間を要するので、それを待ちたい。



町民にとっても役立つ資料たち。必読です

石井 徹議員



### 災害情報の発信

## 今後の緊急災害情報の伝達方法は

### 地域コミュニティの活用に取り組む

**問** 災害時の情報発信について

**答** この度の台風19号では、防災行政無線で情報は行き届いたか。

**問** 全世帯に均等に伝えることはできなかった。

**答** 全世帯に伝えるためにタブレット端末や防災ラジオの活用を考えると、費用が高額、活用方法に一長一短があり、導入はむずかしい。

**問** 今後の対策は。

**答** 防災メールの周知を徹底、また、災害が想定されるエリアの地域コミュニティの活用を研究課題として取り組む。

**泉井集落センターの計画変更について**

**問** 建設工事が進んでいないが、その要因は。

**答** 現段階で建築確認が取得できていない。

**問** 建築確認取得前の入札は通例であるのか。

**答** 通例ではないが、地元との約束を守る為、仕様書に基づき入札を実施。遅れに地元への対応は、要因、経緯を説明し



泉井集落センター工事予定地

お詫びをした上で、今後の計画を説明していく。

**問** 工事会社への対応は、改めて協議をして対応について検討する。

**ふるさと納税について**

**問** 議員研修で視察した茨城県境町は、ふるさと納税で、驚きの成果を上げているが、このことに町の見解を伺う。

**答** 町長はじめ、職員、関係者、団体と素晴らしい連携が取れており、見習う点はあると考える。

**問** 職員を派遣して勉強させてみては。

**答** 職員による視察等を検討したい。

大賀 広史議員



### 災害対策

## 避難所の出入りチェックは

### 入口チェックのみだった

**児童虐待・ネグレクト**

**問** 町内でも虐待が増加しているようだが、どのような案件があるか。

**答** 身体的・心理的虐待共に幅広く、25年度からは毎年、一時保護措置等も行っている状況だ。

**問** 回覧板や広報誌等で、情報提供等の呼びかけを。

**答** 町独自のポスター作製など、検討してみる。

**町の財政（予算と事業）**

**問** 毎年、町長の予算編成方針では、基金（貯金）依存からの脱却などと言っているが、現実を見ると起債（借金）依存からの脱却とすべきでないか。

**答** 基金依存とは経常経費を充てる事であり、起債依存は建設事業費を充てる事。どちらも目を配っていく必要がある。

**問** 整備予定の泉井交流体験エリアに、学童保育所を新設する予定だが、保護者会や支援員の意見を聞いているのか。

**答** 可能な限り対応する。

**問** 北部地域活性化事業が、ほぼすべての事業が



10月12日、越辺川の増水によって溢瀬寸前の今川橋付近

予算を超過している。執行部が自分の財布からお金を出す感覚があれば、ここまで借金を重ねることはなかった。超過分を反映した事業見直しは、民間では当たり前。町としても当然もつべき経営感覚だ。予算が足らず、借金した額はいくらか。

**答** 予算超過分と補助金交付の当てが外れて起債した総額は、現時点（5年間）で約13億円。

**災害対策（台風19号）**

**問** 重郎橋の架け替え工事は急いでいたきたい。越辺川の今川橋付近は増水により、堤防が崩れた。早急に対策を。

**答** 県に報告したところ、改修区間として計画しており、護岸工事の予定だ。

小川 唯一 議員



SDGs

SDGsで町の魅力アップを

総合計画に落とし込むことを検討

**問** SDGs(持続可能な開発目標)をどの様に捉えているか。

**答** 産業革命以降、急速に活発化した人間活動により、経済、社会の基盤である地球の持続可能性が危ぶまれている事に端を発している。

2030年までの目標で貧困や飢餓問題、健康と教育、格差、不平等、安全な水の確保、エネルギー、働きがい、産業・経済成長、人・国の不平等、住み続けられる街づくり、作る責任、気候変動、海陸の豊かさ、平和と公正、世界のパートナーシップについて17の目標とし、地球上の誰一人として取り残さないと誓っている。

**問** 認知度が低いと思うが。

**答** 日本での認知度は相当低いと指摘されている。掲げられた目標は素晴らしいが、具体的に何をすれば良いかイメージが掴みづらいのではないか。

**問** 認知度を上げるにはどうすべきか。

**答** 具体的な指標があれば

ばもつと普及すると思われる。自分の事として考えるまでいかないのでと思う。

**問** 地方創生とSDGsをどう捉えているか。

**答** 国ではSDGsを地域活性化の原動力と位置付けている。町でもSDGsの目標の視点を取り入れる必要がある。

**問** 総合計画に落とし込み実行していくなら町の新たな発見、魅力アップにつながると思うが。

**答** 第6次総合計画の策定にあたり、その中で取り入れる方法を検討したい。



SDGsの17の目標

幼児教育

園児の数の分岐点は

8人

松浪健一郎 議員



**問** 幼児教育、保育の無償化により、役割を終えた感のある鳩山幼稚園の今後について、園児の数が減っていないか。

**答** 27年度41人、今年度35人と減少傾向にある。来年度は28人を予定している。

**問** 運営上、園児の数の分岐点は。

**答** 基準はないが、小学校の基準では、8人以下のクラスが2学年続くと複式学級になる。幼稚園も、8人が分岐点になるが、他市町では、5人で運営している所もある。5人を切るようなことになれば、園運営上や、集団生活に支障をきたす恐れがある。

**問** 廃園にすることで、町の財政負担が減るのではないか。

**答** 年間1400万円程度負担が減ることになる。

**問** 例えば、10人で幼稚園を運営すると、年間約2900万円かかる予算は見合わないと思うが。

**答** 人数が減れば1人あたりの単価は高くなる。

予算的にそれだけ支出するの、いいか、悪いかはその時点で検討する。

**問** 民間にすることのメリットと、デメリットは。

**答** メリットは、預かり保育時間の延長等、保護者のニーズに合わせた柔軟な運営が可能なこと。デメリットは、町内に幼児期の教育施設が無くなること、町内での保護者のコミュニティが無くなること。

**問** 2年保育ではなく、3年保育も視野に入れて、いろいろな良さをアピールするべきだと思うが。

**答** 今後進めたい。



園児の減少が続く鳩山幼稚園

森 利夫 議員



建築確認

集落センター建設に伴う建築確認は

現在も建築確認等が取れていない

問 北部地域活性化事業に伴う、施設建設の進捗状況は。

答 泉井・上熊井集落センターの工事請負契約は9月定例会で議決されたが、建設に必要な各種申請がおり、現時点では施設建設に係る工事を進められない。

問 建築確認が取れていないという事実だが、上熊井集落センターの、農地転用と開発許可はいつ取得したのか。

答 農地転用は不要だが、開発許可と適合証明は現在申請中で、許可取得後に建築確認の申請をする。

問 工事請負契約の議決前に、建築確認等が未取得であった。これを議員に知らせなかった事に、強い疑念と違和感が募る。詳しい原因は。

答 設計事業者が町からの指示事項をおろそかにしていたからだ。

問 原因が、設計事業者の責任と言っているのであれば、その業者を指名停止処分にするべきと思うが。

答 予算措置等の関係で

町が発注しているが、事実上の発注者は泉井地区である。設計事務所に対する措置は、泉井地区の皆様の意向を優先する。

問 7月の臨時会でも、議決が必要な変更契約の締結前に、工事が終了していた。今回の建設工事過程等を鑑み、業務怠慢である。どの様に是正していくつもりか。

答 担当課は必要な指導を行ってきた。設計事業者の問題として考えている。今後は担当課が、事業担当者・上司・役員も含めて、文書による指導を考える。



令和2年1月、新築工事が中断したままの上熊井集落センター

魅力ある里山

町田山(赤沼)整備に町の支援が必要

個別具体的な支援の関与を考える

魅力ある里山

問 東京圏にありながら、里山の自然が残っている事は町の強みだが、財政難の折、整備に着手できず荒廃していることが現実だ。町の強みを活かして、町民が誇りを持てる里山環境づくりが必須だ。その思いから民間企業が奮起し、町田山付近の整備を始めた。この事を町はどう捉えているか。

答 里山景観の再生等が進められ、町の魅力を高めることが期待される。ありがたい取り組みだ。

問 散策路予定地に町道が入っている。傾斜地で歩きづらいが、階段状に整備できないか。

答 里山整備進展過程で個別具体的に協議したい。

問 町田山法面が町有地だ。土砂流出抑制策は。

答 散策路整備同様に進展過程で個別具体的に協議したい。

問 町田山整備により、おしやもじ山・町田山・菱沼く農村公園の「あるくロード」が設定できる。最適コースと思うが。

答 全町公園化構想のウォーキングコースとして提案を受け取る。

ニュータウン街路

問 西友から鳩小入口までの歩道凹凸解消は。

答 うちのき通り歩道整備完了後、財源確保する。

水道事業

問 鳩山・毛呂山・越生3町で広域化の協議は。

答 情報交換会で広域化の話は出ている。

問 前定例会で水道料金は15%アップが必要と伺った。経営は持続可能か。

答 実際には20%アップが必要。



里山整備が進む町田山付近。町は静観のみか

中山 明美 議員



災害対策

「マイタイムライン」が必要では

一人一人作成することが重要

**問** 要介護者の避難誘導の状況は。

**答** 高齢者や障がい者の相談等に対する個別対応や、町内の福祉施設に対する対応。全ての要介護者に対する避難誘導とはならないが、可能な限り、支援が実施できるよう努めていく。

**問** 自分の住んでいる地域の水害リスクを知り、また、水害から自分の身を守るための行動を想定することにより、水害時の備えと早めの避難行動につながる。「マイタイムライン」(自分自身の防災行動計画)が必要ではないか。

**答** 同じ地区内でも、状況は異なる。単身世帯、高齢者がいる世帯、乳幼児がいる世帯等様々な状況であることから、マイタイムラインは住民一人一人がみずから考え、検討することが重要となる。作成することで、各家庭内での防災意識の向上にもつながる。また、作成したマイタイムラインを各地区の自主防災組織で

集約することにより、被害想定をする上で重要な資料ともなり得る。防災啓発の一つの手段として活用方法を検討したい。

**問** 避難所運営で課題があったか。

**答** ペットとの同行避難は、全国的にも懸案となっている。

今宿コミュニティセンターで、人が避難する場所と別室でペットを避難させる方法をとった。

今後は、開設する避難所ごとにペットの避難スペースを確保した上で臨みたい。



台風19号時の越辺川  
今川橋付近

野田小百合 議員



太陽光発電施設

相談や手続きが増えるのでは

要綱に基づき指導する

**問** 今年度中の太陽光発電施設の相談件数、申請件数、説明会開催状況は。

**答** 相談件数53件、事前相談届出書12件、事業者説明会は8件実施。

**問** 相当数の「未稼働のみなし認定案件」の相談や手続きが想定されるが、町はどう考えるか。

**答** 要綱に基づき、各種手続きや関係条例の適用等を指導する。みなし認定箇所は114件。

香害について

**問** 洗剤・柔軟剤、芳香剤など香りづけされた商品は、化学物質が使われている。そのため化学物質過敏症を発症する人が増えている。香害をどのように考えるか。

**答** 香りによって、辛い思いをする人がいることを正しく理解し、認識する事が重要。

周知が必要では。

**答** 保健センターではボスタター、チラシによる啓発を行っている。ホームページや広報はとやまにも掲載し、周知に努める。  
**学校給食について**

**問** 給食費無料化をどのように考えるか。

**答** 鳩山町の児童・生徒は平成30年度789人、給食費は3700万円。国県補助はなく、町が負担することになる。

**問** 国産小麦粉・米粉を使ったパンの利用をすすめ、米飯を増やさないか。

**答** 1週間の主食は米3回、パン・麺が各1回。学校給食会のパン工場では、輸入小麦粉7割、埼玉県産小麦粉3割のブレンド小麦粉を使用。学校給食会では今後、国産小麦粉の使用比率を上げていきたいとのことだった。



伐採工事が終わった石坂地内の太陽光発電施設設置場所



小鷹 房義 議員

食育教育

給食には鳩山産米を使用か

学校給食はすべて町内産米を使用

**問** 小中学校の食育授業 食育に関して授業の進め方は。

**答** 栄養教諭が中心となつて進めている。地場産品を多く活用して、肥満・偏食・食物アレルギーなどを持つてゐる児童生徒に対する個別指導も行つてゐる。事業日程によつては、栄養教諭と児童とで一緒に楽しみながら食べることに、直接的に子ども達の給食に対する理解を深めてゐる。児童生徒の長期欠席による学習支援

**問** 町での学習支援の取り組みをうかがう。

**答** 長期欠席は以下の種類に分けられる。不登校によるもの、病気によるもの、経済的理由等によるもの。人数が一番多い不登校による長期欠席の学習支援については、不登校児童・生徒の気持ちに寄り添うことが何よりも大切で、担任を中心に家庭訪問を行い、授業で使つたプリントや、テスト範囲表を渡すなどしてゐる。また、中学校では、

高校進学に向けての進路指導を、不登校生徒であつても行つてゐる。

**亀井グラウンド駐車場トイレ**

**問** 和式トイレを洋式トイレに改修してはどうか。

**答** 現在の汲み取り和式トイレから、洋式トイレに改修すれば、身体の不自由な方や高齢者の方は負担が軽減され、安心して利用できる。しかし、駐車場の和式トイレは道路を横断しなければならず、大変危険なため、グラウンド内のトイレを使用していただきたい。駐車場のトイレは撤去も考へてゐる。



亀井グラウンド駐車場 和式トイレ

難聴問題

一人ひとりを把握できないのか

レベル把握のため測定器を整備した

**問** 水道使用料金は、使つただけ支払うことが公平ではないか。

**答** 水道審議会で審議する。

**問** 高齢者世帯や子ども的人数で、料金を加減することはどうか。

**答** それらも審議する。

**問** 台風時、町長が区長の家に行き、避難を呼びかけたことは、地域自治権の侵害ではないか。

**答** 災害対策法に「立ち退きや避難勧告ができる」とあり、適法だ。

**問** 水田の保水力を高める必要はないか。

**答** 基盤整備した水田など、保水力が発揮できるよう地元の農家などへ要請したい。

**問** 上熊井から高野倉にかけて、土砂崩れしやすい地質だ。町道改良で費用が増大するのではないか。

**答** 地元の意見を聞く機会を設ける。

**問** 越辺川の増水によつて今宿側がエグリとられだが、改良が急がれるのではないか。

**答** 現状を原に報告・協力してゐる。今年度から用地交渉に着手の予定だ。

**問** 難聴は、社会性をなくし認知症へつながるので、第一原因にすべきではないか。

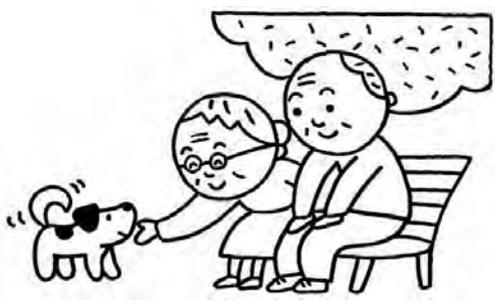
**答** 重要な課題としたい。

**問** 難聴の人をどのように把握してゐるか。

**答** 障がい者は30人だが、そのほかレベルごとに人数を把握していない。今年度から把握したい。

**問** 早期に認定補聴器技能者の派遣が必要ではないか。

**答** 今後、検討したい。



社会性が大事